

■本日のプログラム■

職場訪問例会「北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社」

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長



皆さん、こんにちは。奉仕プロジェクト委員長の小野寺でございます。私事ですが、皆さんご存知のように鉄道ファンでございます。私がこの場に立っている

のも何かの縁なのかなと思っております。釧路車両所は国鉄時代に「釧路機関区」、また「釧路運転所」という名で呼ばれていまして、私も小学校・中学校の時はよく通わせていただいています、非公式に。時効で許していただきたいのですが、今なら不法に見学させていただいて。そのころの職員さんはみんな優しいおじさんばかりで、友だち数人で侵入しても快く受け入れていただいで、機関車の運転台に乗せていただきました。そういうおらかな時代を経験させていただきました。

皆さんが中に入る機会には本当にはないですが、昔は年1回の『車両所祭り』をやっていました。子ども連れが多かったのですが、いろんな場所を見学させてもらえる日がありました。その時には見る機会あったと思いますが、それもなくなりました。見させていただく機会が一般的になくなったので、今日はとても貴重な体験をされるのかなと思います。

昨今ですと、特急車両のキハ283系が『おおぞら』から引退しました。まだ車両は残っているのかなと思いますが。あと、キハ40型という白に緑の線が入っているのも現役から外れたということで、それも最後に見るチャンスだと思います。しっかり皆さんの思い出に入れていただきたいと思ひます。

それで最後に小話をひとつ。「北海道旅客鉄道株式会社」はJR北海道さんの正式名称ですけども、これの旅客鉄道の「鉄」という字ですが、普通は鉄というと金偏に失うという字ですが、JR各社さんは、正式な社名のロゴはその「鉄」だと「お金を失う」ということから縁起が悪いということで、失うの字が矢になっているのです。もし、敷地内の看板等ではそうになっていると思うので、皆さん興味を持って見ていただくとありがたいなと思ひます。

それでは、今日の見学会に際しましては山田支社長さんに大変ご尽力いただきました。

支社長様からご挨拶をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社

山田 浩司支社長



JR北海道の山田です。先週は「転勤族フォーラム」ということで転勤族に焦点を当てていただき、軽くいじっていただきましてありがとうございます。大賞になられた小野局長は、今日はワクチン接種という

ことで残念ながら欠席でしたが、「先週、話した内容は一切忘れたい」と伝言いただひしていますので、よろしくお願ひいたします。

本日は、釧路運輸車両所に訪問していただきまして、ありがとうございます。小野寺さんからは詳しい話もありましたけれども、昨年は『釧路駅開局120年』ということで例会でもお話をさせていただきました。この釧路運輸車両所も、そういう意味では白糠と釧路が結ばれて釧路駅が誕生して以来、前身の釧路機関区としてスタートしていまして、120年以上の歴史を持った設備・職場であります。

もともとはプリンスホテルの辺りに釧路駅がありまして、この設備につながっていたのですが、70年ぐらひ前にこちらに引越して来て、今はこの状況にあるということです。

本日は、今年残念ながら運行できなかった「SL」ですとか、4月29日から運行します「ノロッコ列車」、これと同時に見られるのはなかなかないのですが、同時に見られるような配置にさせていただきました。中を見ていただけるようにしましたので、ぜひ写真を撮っていただひいて。SNSに上げなければ写真を撮ってもいいですね。ぜひ、そういう所を見ていただひければと思ひます。

私がかこだけわがまを言ひて、見学コースに入れていただひいたのが「車輪旋盤」という設備があります。昨年度、当社の列車と鹿の衝突が1,000件以上あります。そのたびにブレーキをかけるので、車輪が傷ついてしまい、その修繕をするのに、昔は車輪を外して修繕していたのですが、車輪をつけたままの状態です。それは特殊な設備になりますので、少し離れた所だったのですがそれをコースに入れていただきました。少し時間がかかるのですが、ぜひこの釧路車両所は、鉄道の事業にとっては重要な職場になりますので、皆さん見ていただひいて、ご理解いただひければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

最後、皆さんに配らせていただひいたパンフレットなのですが、『えきねっと』という当社の新幹線など予約できるもので、もし、登録したい方がいらっしやればスタッフを配置しておりますので、帰りにスマホで登

録していただければと思います。



(見学説明～3グループ編成～見学)

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長

皆さま、お疲れさまでございます。楽しい見学で時間が押してしましまして申し訳ございません。

今日、いろいろご説明いただきました。J R北海道の皆さまに感謝の意を込めて拍手をお願いいたします。

ありがとうございました。